

青森県選抜台湾遠征へ

高校野球 神宮V光星から12人

11月に東京・神宮球場で行われた明治神宮野球大会高校の部で八戸市の光星が優勝したことを受け、明治神宮と日本学生野球協会は12月22〜29日、光星が所属する青森県選抜チームを台湾に派遣する。青森県高野連は8日、派遣選手18人を発表した。

派遣選手は秋季県大会優勝の光星から12人、準優勝の大湊、3位の青森山田、4位の東義から各2人で、全員2年生。投手は光星の金沢湧紀、大湊の主戦七戸貴哉ら5人、捕手は光星の

田村龍弘、内野手は光星の北條史也、青森山田の京田陽太ら7人、外野手は光星の天久翔斗、大湊の佐藤航ら5人。

監督は仲井宗基・光星監督が務める。渡航費用は、明治神宮などが負担する。

一行は22日に青森を出発し、明治神宮で結団式を行った後、台湾に向かう。現地では台湾、韓国の高校と親善試合など計4試合を行い、29日に帰国する予定。県内から派遣される選手、役員は次の通り。

(敬称略)

- ◇役員ほか▽県高野連▽渡辺学(理事長)▽責任教師▽小坂貴志(光星)▽監督▽仲井宗基(光星)▽理学療法士▽堀切悟史(なからさわスポーツクリニック)
- ◇選手▽投手▽金沢湧紀、伊藤裕貴(以上光星)▽七戸貴哉(大湊)▽高田海(青森山田)▽相馬健作(東義)
- ▽捕手▽田村龍弘(光星)
- ▽内野手▽武田聖貴、城間竜兵、大杉諒暢、北條史也、松浦凌弥(以上光星)、京田陽太(青森山田)▽清藤達也(東義)▽外野手▽村瀬大樹、木村拓弥、天久翔斗、関口隆祥(以上光星)▽佐藤航(大湊)